

第2学年 音楽科学習指導

1 単元名（題材、主題） くりかえしを見つけよう ～音楽づくり「おまつりの音楽」～

個人研修課題 考えを深めるための活動や関わらせ方の工夫

2 単元（題材、主題）について

- ・ 本題材では、音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して、音楽づくりの発想を得ることができるようにすることがねらいである。
- ・ 本学級の子供は、音楽への関心が高く、元気に歌を歌ったり音楽遊びを楽しんだりしている。一方で、音楽の要素が生み出すよさや面白さを感じ取ったり、自分なりの表現を楽しんだりすることについてはまだ経験が浅く、できる子供とそうでない子供がおり、課題がある。
- ・ そこで、本単元では、地域に伝わる「明日の稚児舞」や「愛本姫社まつり」、「栃屋の獅子舞」等、馴染みのある曲の映像から日本のおまつりの音楽についてイメージをもち、音楽の要素を感じ取り、それが生み出す面白さに気付けるようにしたい。また、音楽づくりの際に音楽の要素を絞って取り入れることや、リズムカード・ICT機器を使うことで、オリジナルのおまつりの音楽を作ったり演奏したりすることの面白さを実感できるようにしたい。

3 題材の全体計画（全6時間 本時 4/6）

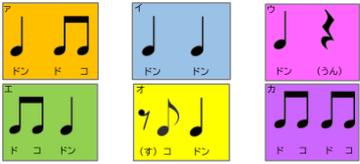
- 第1次 旋律の繰り返しに気を付けて歌う。・・・2時間
- ・ 地域のいろいろなお祭りの音楽を聴き、拍のまとまりやリズムの特徴を捉える。
 - ・ 「かねがなる」「むらまつり」を聴いて曲想と旋律の反復との関わりに気付いて歌う。
- 第2次 反復を使って音楽をつくる。・・・2時間
- ・ リズムカードを組み合わせてリズムをつくる。Scratchに入力し、聴きながら自分のイメージに合った音楽になるように改善する。
 - ・ つくったリズムを手作り太鼓で打ち、ペアで聴き合ったり、グループでつなげて演奏したりして楽しむ。
- 第3次 作ったおまつりの音楽を発表して聴き合う。・・・2時間
- ・ グループで作ったおまつりの音楽を、自分たちのイメージに合わせて工夫して演奏する。
 - ・ 生活科の「秋まつり」で1年生におまつりの音楽を披露する。

4 本時の学習（4／6時）

(1) ねらい

繰り返しが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音楽づくりに生かすことができる。

(2) 展開

学 習 活 動 □学習形態（配時）	・指導上の留意点 ◆評価（方法） ※ICTを活用した児童への手立て
<p>1 リズム打ちを行いながら前時の学習を振り返り、本時の学習課題を確認する。</p> <p style="text-align: right;">全体 10分</p> <p>・繰り返しがあると、おまつりの音楽らしくなるね。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・6種類のリズムカードを用いてリズム打ちを行う。 ・前時までに学習したお祭りの音楽に、繰り返し（反復）が使われていたことを確認する。 ・前時に、「おまつりのリズム」を作成しておく。 ・リズムは4小節8拍分とし、4枚のカードを選んで作る。「くりかえし」を使うために、同じカードを2枚以上使うこと（やくそく）を確認して作っておく。
<p>「おまつりのリズム」をつなげて、イメージにあう「おまつりの音楽」になるように工夫しよう。</p>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  </div>	<ul style="list-style-type: none"> ※ロイロノートの共有ノートで、カードの組合せを画面上で簡単に操作できるようにしておく。 ※Scratchでリズムを再生して聴きながら、より自分たちのイメージに近付くようにカードの組合せや順序を変えてみるよう指示する。 ※班ごとに音が混ざらないよう、イヤホンとスプリッターを使用し、班のみんなで音を共有して聞くことができるように配慮する。
<p>2 グループに分かれ、各自が見つけたリズムを紹介し、繰り返しに着目して聴き合う。また、自分たちの「おまつりの音楽」のイメージについて話し合い、よりイメージに合う「おまつりの音楽」をつくる。</p> <p style="text-align: right;">グループ 20分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・だんだん盛り上がるような音楽にしたいから、たたく数が少ない人から多い人になるようにしたいな。 ・みんな「力」のリズムを入れて繰り返すとまとまりがでるよ。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>◆繰り返しが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音楽づくりに生かすことができる。 (思考・判断・表現) <行動観察、発言、タブレット端末、ホワイトボード></p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノート、Scratch、ホワイトボードと役割分担を決めみんなが役割意識をもって活動に参加できるようにする。 ・最終的に完成したカードの組合せを画面上やホワイトボード上に残し、振り返れるようにしておく。
<p>3 つくったリズムを聴き合う。</p> <p style="text-align: right;">全体 7分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「むらまつり」のように1小節目と4小節目に同じリズムを繰り返して入れると、よりつながりがスムーズでおまつりの音楽らしくなりました。 ・「ワッショイ」と飛びはねている感じを出すためにオのリズムを初めに繰り返しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・紹介する側は、イメージに近付けるために工夫した点を説明し、実際に演奏してもよいし、Scratchで再生して紹介してもよいことを確認する。 ・聴く側は、「くりかえし」が使われているか、リズムがイメージに合っているかを考えながら聴くことを確認する。 ・ホワイトボードを活用して、始めと最後のカードの共通点や相違点に注目し、反復の効果やイメージとの関わりに気付かせる。
<p>4 ロイロノートのアンケート機能を使って振り返りをした後、全体で学習の振り返りをする。</p> <p style="text-align: right;">個・全体 8分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・繰り返しを使うと、わくわくするようなお祭りの音楽をかんたんにつくることができたよ。 ・友達のリズムとつながっておまつりらしい音楽ができてうれしかったよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次時は、つくった音楽を1年生に披露するために、手作り太鼓で練習して演奏できるようにすることを伝え、見通しがもてるようにする。 ・ロイロノートのアンケート機能を使うことで簡単に本時の振り返りができるようにする。